



**今月の話題：**緊急事態から脱出したとの公報が出た。一方で、ブレークスルー感染の懸念が報じられ、ブースター接種の手順が伝えられる。語彙定かならぬこれらの情報への対応に我々高齢者層はどうすればいいか戸惑うばかり。すでに長期に亘った巣ごもり生活で活動力がかなり減退しているのを痛感する。今や時流となっている人流を避け、動かずに過ごす政府主導の生活方式から脱出せねばならぬと痛感する。何はともあれ、活力求めて動きだそうではないか。(伊藤誠三)

#### □ 本部便り：(金森捷三郎 記)

・緊急事態宣言が9月末で解除の方向ですが、事務所の再開は暫く状況を観察し、コロナの終息が見通してから徐々に始めてゆく予定です。この間、従来通り消毒、マスク、換気、人数制限、短時間終了等のルールを守って、事務所をご使用ください。

○次回拡大理事会：12月8日(水) 16:00~17:30

#### □ 建築部会：(岡本直 記)

・プロフェッショナル 仕事の流儀：我々の仕事と関わりの深い工事現場の安全のために頑張る84歳の交通誘導員のお話です。NHKのTV番組、プロフェッショナル 仕事の流儀で「旗じいちゃんの生きる道～交通誘導員 上野敏夫」が9/21に放映されました。仕事への真摯な姿勢と情熱で、交通誘導をとことん極めた手際のよい仕事振りが画面に映し出されていました。頭上に危険物が無いか、左右どちらの車を先に通すべきか、絶えず、視線を上下左右に振りながら手旗を振ります。車の運転手へ心配りを込めて手旗の上げ下げをする立ち振る舞いのかっこ良さが見事です。60歳近くからこの仕事を始めた上野さんが、なぜ、そこまで仕事に打ち込むのか、口では金のためだと言いながら、それが前職の会社経営者の時代に苦勞をかけ、先に亡くなった奥さんに感謝の気持ちを伝えるなよりのメッセージだからです。一人暮らしを続ける旗じいちゃんのかたくなに働く姿や時折見せる柔らかな表情が、生きがいとは何か、仕事とはなにかをあらためて我々に語りかけてくれました。

#### □ 戸建住宅部会：(阿部市郎 記)

・9月戸建部会は2021年9月16日(木)16時~17時30分 会議室とZoomにより開催した。出席15名

##### 1, 技術支援事業：

・GT南桜井タウンハウス大規模改修支援：全22棟84戸のうち3棟/月平均で工事中、検査報告、追加工事等の報告、確認の上、工事推進。工期：令和4年3月末日、

・ウッドランド辰巳台第4回中大規模改修支援

工事状況 10月第1週引き渡し予定、

・タウンハウス稲毛 長期修繕計画支援：住戸の躯体状況確認打ち合わせ(9月6日PM立ち合い)

##### 2, 調査研究事業

・「林野庁補助事業、CLT建築物等の設計者育成事業」…企画開発・設計者等のための「CLT WEB講座」2021…本年は特別公演：「隈研吾氏 CLT を語る」、昨年同様 WEB 配信による建物紹介…CLT 等を用いて建築された話題建物を紹介し、事業者・使用者・設計者からの意見・評価を現地インタビュー、●既に配信を開始しているので、会員の皆様が積極的に WEB 講座に参加をお勧めする。

・令和3年度林野庁補助事業・大径化した原木等を生かした利用の拡大：床構面の開発事業について、i) 確認申請の軽減に関すること。ii) 製材実証について

3, 松村秀一先生談話…今回は「【LIV 配信】第13回 再生可能エネルギー等に関する規制等の総点検タスクホース」の臨場感あふれる論議のご紹介をいただいた。

○次回部会予定：10月14日(木)16時~17時30分、

#### □ 集合住宅部会：(小畑晴治 記)

・コロナ感染症の緊急事態宣言が解除され、いよいよ経済活動開始の気運が政財界にあるようだが、百年前のスペイン風邪(1918-20)の直後に関東大震災(1923)が発生し、9年後には『大恐慌(世界恐慌1929)』が発生した。今回のポストパンデミック

クの世界不況は間もなくかもしれない。中国の恒大グループの経営危機もそうだが、日本国内の大規模開発の異常暴走は、業務床需要の激減や空室率高止まり(都区内でも6~7%)でも止まる気配がない。日本の人口減少は昨年48万人(日本人減50万人と外国から移籍2万人の差し引き)であり、生産年齢人口(15-64)は過去9年間平均で66万人減であったが、今後70~80万人減/年がずっと続く。このような中、高々築50年程度の高層・超高層建築が次々に巨大超高層(230m級)に“増床で建替え”されている国は世界にない。860万戸の空き家がありながら、年間100万戸近い新規住宅建設をする国も例がない。日本の財政赤字(2020年度末)は、1220兆円にも膨らんだが日本は一体どれだけの借金を子孫に残そうというのだろうか？

#### □ マンション管理組合支援事業部：(丸山和郎 記)

・緊急事態宣言の解除をうけ、休止中の支援活動も年内終了予定にある案件が再開します。

1) ソフトタウン武蔵野の工事監理が9月末に終了し、引き続き長期修繕計画見直し業務へと移行します。CFすずかけ台駅前の工事監理も11月6日の竣工を目指しています。

2) ハイツ上鷲宮は業者選定が終わり、来年2月からの着工の前に追加工事の詳細設計の段階。

3) SV戸塚は改修設計と国交省補助事業「長期優良住宅化リフォーム推進事業」への申請支援業務が2年後の大規模修繕工事に向け動き出しました。

4) LG百合丘は、改修設計と「長期優良住宅化リフォーム推進事業」への申請支援業務が11月から始まる予定です。

5) 新規受託物件のパークハウス本郷真砂および6) ファミール春日部式番館の2案件は、調査結果報告会が延び延びになっていましたが、10月中旬以降には動き始めます。

7) 新規引合案件では、(リピート案件の)ソフトタウン石神井台の調査診断が11月~12月で予定に組み込まれています。

⑧成田市サンコーポ加良部：(RC5F, 3棟, 105戸, 築40年)の給水管更新工事の設計監理は、対応を検討中。(PSの広さが狭く、更新工事が困難なため、ライニング更生工法を提案。

そのほか、CFすずかけ台駅前、およびアール五反田の2件の特定建築物等定期調査報告業務対応は10月中旬からの予定です。

◇公的補助事業利用の大規模修繕工事の管理組合支援活動  
国交省は平成27年7月に公布された【建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律】普及の一環としてサッシの断熱化改修を軸とする「長期優良住宅化リフォーム推進事業」を平成29年から進めているが、この申請業務が煩雑であることから、この事業に取り組む管理組合が少ない。下記の3つの管理組合に働きかけ、それぞれの大規模修繕工事に国交省補助事業を組み合わせる「申請補助」という支援業務に提案しています。

1) スカイビュー戸塚：支援業務期間：R3年7月~R5年4月。

2) ライオンズガーデン百合ヶ丘：(14F, 267戸, 築35年)：3年後に大規模修繕工事実施を当面の目標に、事前検討会開始。契約は11月の総会後の予定。

3) 入間仏子団地(PC造, 5F, 12棟, 360戸, 築46年)：10月末~補助事業説明会開催予定。

□建築技術誌3月号(2月17日発売)サーツ欄掲載記事

・筒井 勲：ソフトワーク、施工技術者のたわごと

・小畑晴治：寺子屋報告「住み慣れたマンション・団地で安心の暮らしを考える」

□ 余滴： お大師は一番札所秋日和

捷三郎